

★ ★ ★

／小栗旬

東宝試写室

を果たしていたが、“新解釈”では、孔明の妻・黄夫人（橋本環奈）が大きな役割を果たすので、それに注目！

「赤壁の戦い」の前哨戦では、「3日のうちに1万本の矢を準備する」と孔明が約束し、それを実現したのは有名な逸話。また、曹操の軍船を火攻めにするべく、この季節には絶対に吹かない東南の風を孔明が呼び込んだのも有名な逸話。それ自体は、れっきとした史実だが、“新解釈”における、その物語の展開は？なるほど、なるほど・・・。

◆「三國志」の楽しみ方は人それぞれ。小説があればマンガもあり、映画があればTVドラマもあり、歌舞伎もある。また、その解釈が人それぞれ自由であることが、日本学術会議問題を持ち出すまでもなく、学問の自由だし、表現の自由に結びつくことになる。

その意味で、“新解釈”による「三國志」が完成したのは喜ばしい限りだ。また、「天下無双のエンターテインメント超大作」を目指すのも大いに結構。私も心の底から大声で笑えるそんな本作に期待したが、くだらないギャグのオンパレードは如何なもの？ギャグの連発とエンタメとは全然違う。私はそう思うのだが・・・。

2020（令和2）年11月18日記